

MAZDA



2026年1月12日

## マツダ、新型バッテリーEV「MAZDA CX-6e」を世界初公開 —電動車ラインアップを拡充し、各地域のニーズにマルチソリューションで柔軟に対応—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、新型バッテリーEV「MAZDA CX-6e(マツダ・シーエックス・シックスイー)」を欧州および豪州などの市場に導入することを発表しました。「MAZDA CX-6e」は、1月9日(現地時間)に開催されたベルギー・ブリュッセルモーターショー<sup>1</sup>において世界初公開され、欧州では今夏の発売を予定しています。また、豪州においても年内の導入を計画しています。



MAZDA CX-6e(欧州仕様)

「MAZDA CX-6e」は、昨年の上海モーターショー<sup>2</sup>で発表した「MAZDA EZ-60」をベースに開発し、「MAZDA 6e」に続き、グローバル市場に導入する協業バッテリーEVラインアップの第2弾です。マツダならではのデザインと「人馬一体」の走りに、協業パートナーである重慶長安汽車股份有限公司の電動化・知能化技術を融合し、多様なライフスタイルに応えるクロスオーバーSUVに仕上げました。

デザインでは、「FUTURE + SOUL x MODERN」のデザインコンセプトに基づき、造形美と先進性を融合し、走りにおいては、欧州市場特性に合わせたハンドリングや乗り心地の最適化で「人馬一体」を深化しました。さらに音声・ジェスチャー認識、最新運転支援、デジタルサイドミラー<sup>3</sup>など数々の知能化技術を組み合わせることで、より安全で快適な移動体験を提供します。

なお、欧州市場では、昨年9月に発売したミッドサイズセダンのバッテリーEV「MAZDA 6e」を好評いただいており、発売以来累計7,000台以上の販売を達成しました。今回、「MAZDA CX-6e」を投入することで、バッテリーEVのラインアップをさらに拡充し、お客様の需要に応えてまいります。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る歓び」を進化させ続け、お客様の日常に移動体験の感動を創造し、「生きる歓び」をお届けしていくことを目指してまいります。

以 上

---

\*1 正式名称は、「Brussels Motor Show 2026」。

\*2 正式名称は、「第 21 回上海国際自動車工業展覧会(Auto Shanghai 2025)」。

\*3 装備内容はグレードにより異なる場合があります。発売時に公表される情報をご確認ください。